

# 木材と東京2020オリンピック ・パラリンピック

～違法伐採木材が“レガシー”にならないために



(認定NPO法人) 国際環境NGO FoE Japan

三柴 淳一



# FoEIのネットワーク



- FoEI: Friends of the Earth International
- 欧州、北米のみならず、**中南米、アフリカ、アジア**にメンバーが多い
- 各国の**草の根環境NGO**の国際ネットワーク



ステークホルダー・エンゲージメントプログラム(2017年6月1日)

# 緩やかなネットワーク

● FoEI



● 日本



● オランダ



● フランス

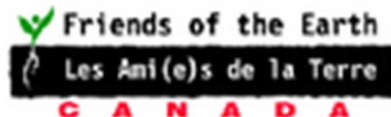


Les Amis de la Terre

● ハイチ



● カナダ



● インドネシア



ステークホルダー・エンゲージメントプログラム(2017年6月1日)

# フェアウッドとは?

<http://www.fairwood.jp>



- **フェアウッド(FAIRWOOD)**とは、伐採地の森林環境や地域社会に配慮した木材・木材製品のこと
- ◆ フェアウッド・パートナーズ
  - FoE Japanと地球・人間環境フォーラムの共同事業として2002年から始動(当初、フェアウッド・キャンペーン)
  - 「木の流れから、未来をつくる。」:フェアウッドのコンセプトに基づく自らの判断基準を確立し、フェアウッド調達・利用の普及・推進に取り組むことを奨励。その普及により国内外の森林保全への貢献を目指す

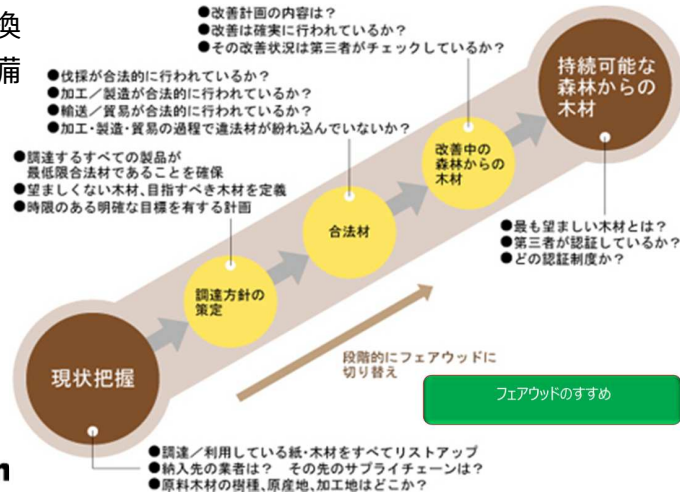
- [Reduce, Reuse, Recycle] 修理・再生木製品、古材・廃材
- [違法伐採でない木材] 違法伐採、生態系・地域社会・絶滅危惧種等へ配慮
- [国産材・顔の見える木材] 近くの森林から生産された木材
- [森林認証材] 信頼できる第三者による認証木材
- [コミュニティ材、フェアトレード] 地域住民が自ら適切に森林管理



# フェアウッド調達

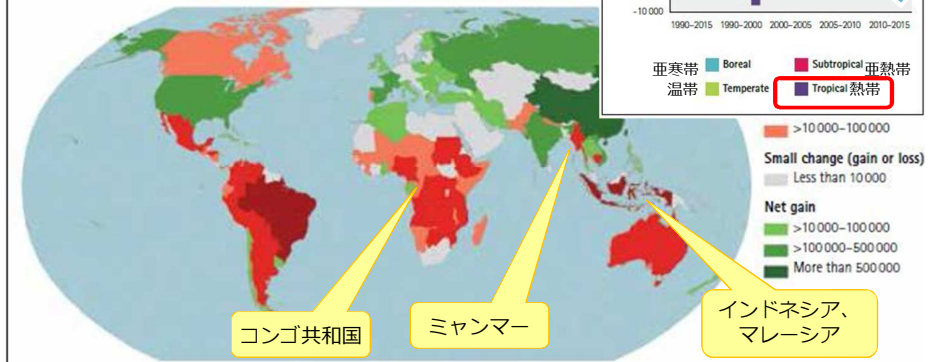


- 詳細な現状把握、評価
- 調達方針の策定・公表
- 段階的な転換
- 実施体制整備



# 世界の森林の現状

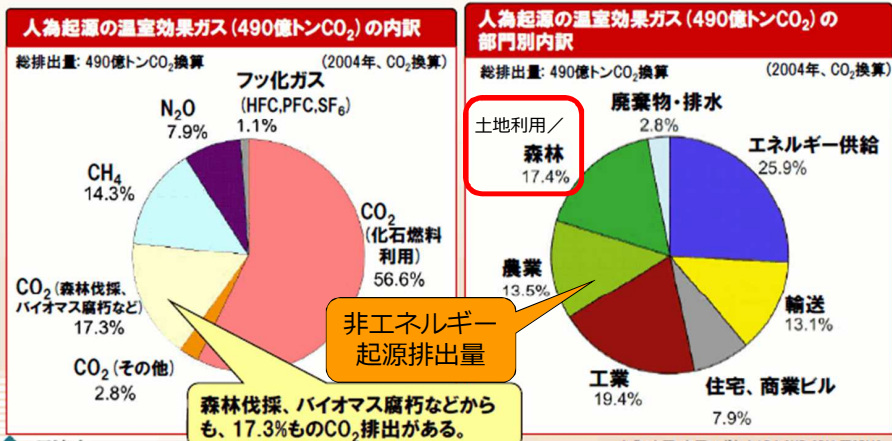
FIGURE 4 Annual net forest gain/loss (ha) by country (1990–2015)



出典: FRA2015. Fig.2,4, p16, FAO.

## 2. 排出の大部分を占める二酸化炭素

- 二酸化炭素は最も重要な人為起源の温室効果ガスである。
- 部門別では、1970～2004年の間にエネルギー供給、輸送、工業からの排出量が大幅に増加した。



環境省 出典: 環境省. IPCC第4次評価報告書統合報告書概要 (公式版), p28, 2007年12月17日.

## 世界三大熱帯林

南米

アフリカ

東南アジア

森林減少の要因: **違法伐採**、非持続可能な林業・森林管理

森林減少の要因: **熱帯林の農地等への用途転換**(FRA2010)

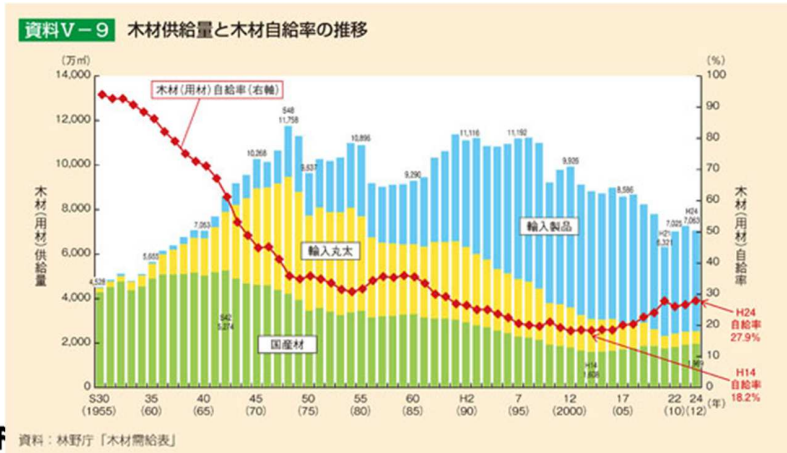
### 森林の用途転換の背景:

- ◆ 土地収奪(ランドグラビング): 農地投資の過熱、工芸農作物の需要が増大
- ◆ 食用・加工油用、バイオ燃料用、紙・パルプ用作目
  - 小麦、トウモロコシ、大豆、サトウキビ、**アブラヤシ**、ジャトロファ、**ゴム**、**アカシア**、**ユーカリ**、**ファルカタ**など

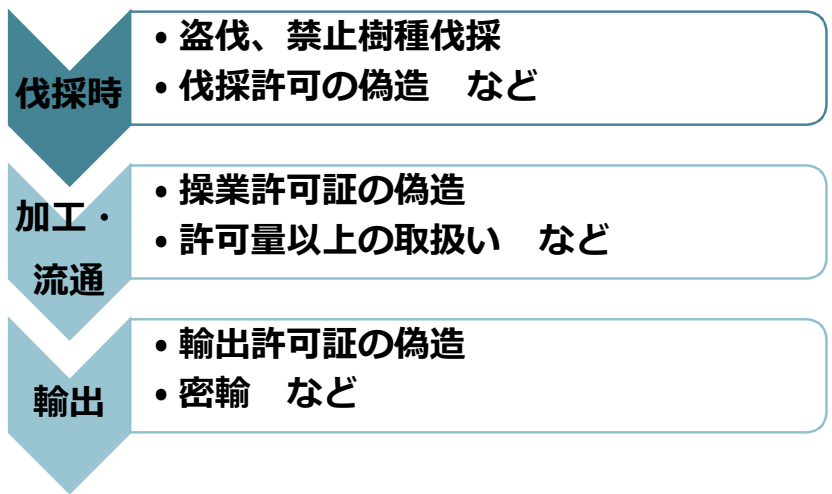


# 国内林業市況の現状

- 国内林業産出額の恒常的な減少（過去35年間で30%減少）と木材価格の下落が続  
き、間伐や森林整備が遅れ森林の荒廃や多面的機能の低下
- 安価な違法伐採木材の輸入が認められているため、不正価格競争により  
日本の森林・林業に悪影響を与えている



# 違法伐採とは？



# 海外NGOからの指摘 (GW)

- 米国・英国ベースのグローバルウィット  
ネス (GW)
- マレーシア、サラワク州において長年に  
渡り蔓延する汚職・腐敗をベースとする  
違法伐採問題を指摘
- 日本はサラワク州産木材のNo.1バイヤー



# 海外NGOからの指摘 (EIA)

- 米国・英国ベースの環境調査エージェンシー (EIA)
- ロシア（中国を経由して日本市場へ）ヤルーマニアにおける違法伐採問  
題を指摘



# オリ・パラ施設の木材

## ●外溝工事

- コンクリート型枠合板、ウッドデッキ

## ●施設内装工事

- 天井、床、壁、据付家具、階段、手すりなど

サラワク

ブラジル、アフリカ、ミャンマー、  
ラオス、インドネシア、マレーシア

ブラジル、アフリカ、ミャンマー、  
ラオス、インドネシア、マレーシア

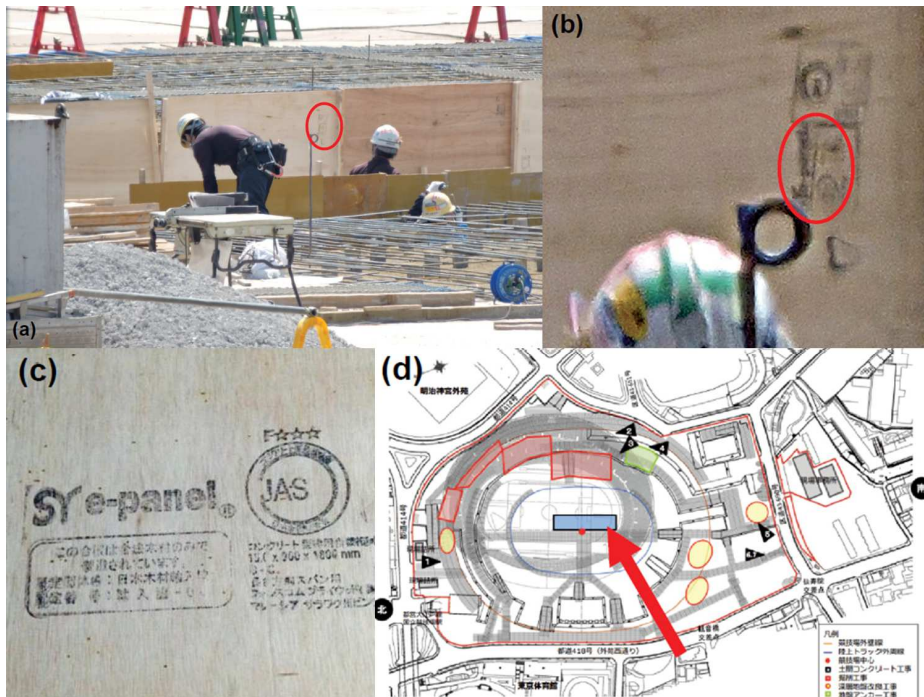
ブラジル、アフリカ、ミャンマー、  
ラオス、インドネシア、マレーシア、  
ロシア

ブラジル、アフリカ、  
ミャンマー、ラオス

ブラジル、アフリカ、ミャンマー、  
ラオス、インドネシア、マレーシア

# 新国立競技場の問題について

- 2006年4月：改正グリーン購入法施行 - 政府調達における合法木材使用義務
  - 2008年米国改訂レイシー法施行、2010年EU木材法成立（2013年施行）、2012年豪州違法伐採禁止法成立（2014年施行）
- 2016年5月：クリーンウッド法成立（合法伐採木材等の流通および利用の促進に関する法律）
- 2016年6月：持続可能性に配慮した木材の調達基準  
<https://tokyo2020.jp/jp/games/sustainability/sus-code/wcode-timber/data/sus-procurement-timber-code.pdf>
- 2016年12月：2020年東京オリンピックを前に市民団体が人権侵害、熱帯林破壊、違法伐採のリスクをIOCに警告
- 2017年4月：<プレスリリース> 熱帯林の破壊及び人権侵害につながる疑いのある合板の使用について緊急の調査を要請～新国立競技場建設で～  
<http://www.foejapan.org/forest/library/170421.html>



## 新国立競技場

ホーム	審査等の結果	会議・委員会資料など	新国立競技場整備事業記録	基本図
-----	--------	------------	--------------	-----

## お知らせ

2017年04月28日

新国立競技場整備事業における木材の調達について（環境NGOの主張に対する見解）

一部の環境NGOが4月20日付で発出したプレスリリース及び同月27日に行った会見において、新国立競技場の建設に使用されているコンクリート型枠合板に違法な木材が使用されている可能性を指摘しています。

新国立競技場整備事業で用いる木材については、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）の定める、持続可能性に配慮した木材の調達基準に適合した調達となるよう、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）から事業者に要請しております。

このうち、今回指摘された型枠用合板は、国際的な森林認証（PEFC認証）を取得した製品であるなど、組織委員会の基準に適合した木材であり、今後調達する型枠用合板についても、同基準に適合した木材を用いることとしております。

JSCとしては、新国立競技場の建設に用いる木材について、今後も引き続き、持続可能性に配慮しつつ、政府及び組織委員会と連携を回りながら、整備事業を進めてまいります。

※環境NGOが4月20日付で発出したプレスリリースにおいて、新国立競技場の建設現場の写真と併せ、型枠合板表示のサンプル写真（以下URLに掲載の添付写真(c)）が掲載されていますが、これは、新国立競技場とは一切関係のない写真です。  
<http://www.foejapan.org/forest/library/170421.html>



# 組織委員会の木材調達基準

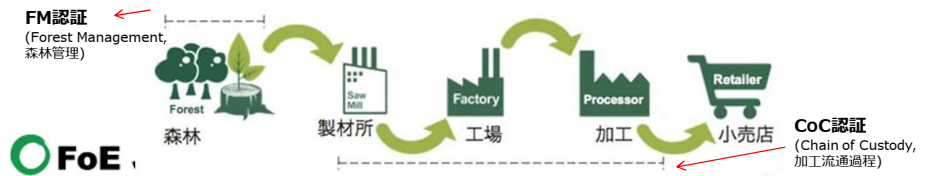
- 対象：(ア)建設材料として使用する製材、集成材、CLT、合板、LVL、フローリング、(イ)建設に用いられるコンクリート型枠合板、(ウ)家具に使用する木材（製材端材や建設廃材等を再生利用するものを除く）
  - コンクリート型枠については再使用を促進。再使用の場合でも①～⑤を満たすよう目指し、少なくとも①を満たす
- 木材調達の基準
  - ① 伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令等に照らして手続きが適切になされたもの
  - ② 中長期的な計画又は方針に基づき管理経営されている森林に由来すること
  - ③ 伐採に当たって、生態系の保全に配慮されていること
  - ④ 伐採に当たって、先住民族や地域住民の権利に配慮されていること
  - ⑤ 伐採に従事する労働者の安全対策が適切に取られていること
- FSC, PEFC, SGECによる認証材は①～⑤への適合度が高いものとして原則認める。認証材以外は、規定のデュエティレジエンスを実施

● 国産材を優先調達  
FoE Japan

ステークホルダー・エンゲージメントプログラム(2017年6月1日) 17

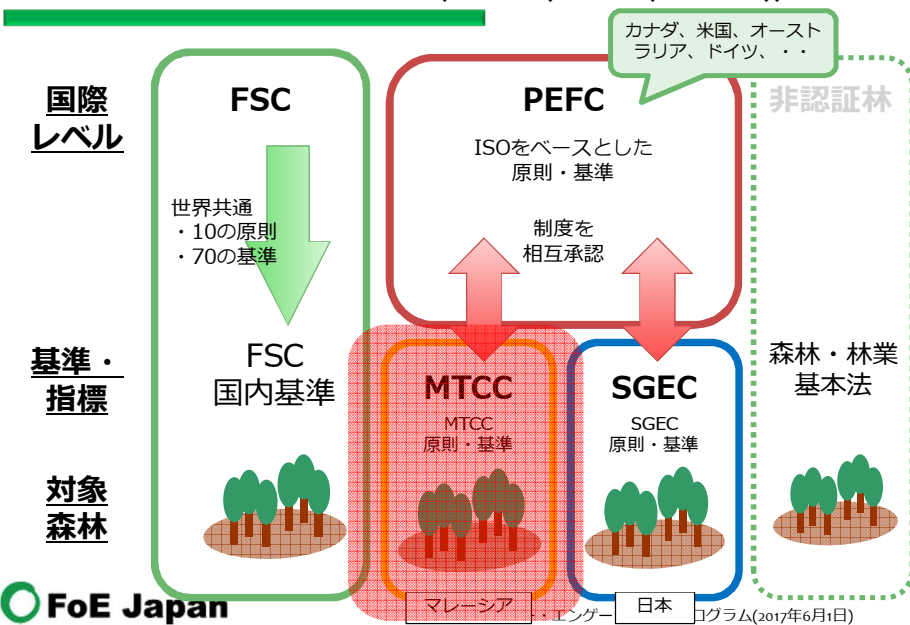
# 森林認証制度 (FSC, PEFC,SGEC,,)

- FSC : Forest Stewardship Council (森林管理協議会)
  - 森林減少など世界の森林が抱える問題や市民の環境意識の高まりを背景として、1994年設立。環境影響や地域社会、先住民族の権利などを含む10原則70基準で第三者機関が厳密な審査
- PEFC : Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes (PEFC森林認証プログラム)
  - 元々は「Pan European Forest Certification Schemes (汎ヨーロッパ森林認証制度)」。ヘルシンキ・プロセスを基準として1999年設立。その後、非ヨーロッパ諸国への拡大し、2003年から現在の名称
- SGEC : Sustainable Green Ecosystem Council (緑の循環認証会議)
- MTCC : Malaysian Timber Certification Council (マレーシア木材認証協議会)



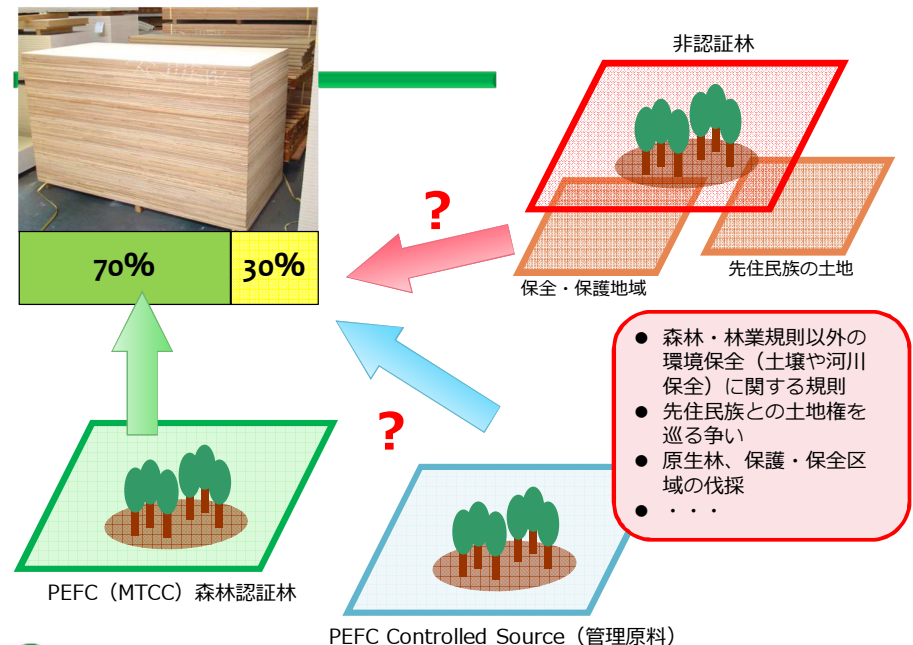
FoE Japan

# 森林認証制度 (FSC, PEFC,SGEC,MTCC,,)



FoE Japan

ステークホルダー・エンゲージメントプログラム(2017年6月1日)



FoE Japan

ステークホルダー・エンゲージメントプログラム(2017年6月1日) 20

## その他注目の競技施設 (恒久施設)

- 有明アリーナ
- 海の森水上競技場
- オリンピックアクアティクスセンター
- 選手村
- . . .



<https://tokyo2020.jp/17/games/venue/olympic-village/>

## 望ましいレベルは？



## “持続可能”木材をオリ・パラに

- 「認証」神話に頼り過ぎないこと
- 入念な確認 (デューディリジェンス) に基づく自らの判断根拠を持つこと
  - フェアウッド調達 (責任調達) : 調達方針の策定、運用
    - リスク評価は適切にすること
    - まずはトレーサビリティを確認・担保すること
    - 透明性 (transparency) 、説明責任 (accountability)

世界に誇れる“調達コード”の適切な運用で  
歴史に残るオリ・パラ大会を！！

